

看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

日本共産党都議予定候補 事務所ニュース

No.14 2016年11月29日



東京の空にオスプレイ飛ばすな 横田集会に大田から七〇人

藤田予定候補らデモ行進の先頭に

23日、米軍のCV22オスプレイの横田基地配備に反対する集会が福生市の多摩川中央公園で開かれ、大田から70人以上が参加（全体は5000人）しました。集会には藤田りょうこ都議予定候補をはじめ、佐藤伸区議・都議予定候補、か



集会に参加した大田の仲間と。中央、藤田氏、右隣、佐藤氏。

ち佳代子都議、青山コウヘイ衆院東京4区予定候補らも参加。「配備阻止と基地撤去」を呼びかけかけるアピールを採択後、デモ行進しました。

横田には来年からオスプレイ10機が配備されようとしています。これは沖縄や全国各地で強行される米軍基地の機能強化と一体のもので、首都の東京に米軍の特殊作戦の一拠点がおかれるものなのです。

藤田予定候補コメント

横田基地の周辺は住宅や学校・保育園などが密集しています。米議会も「欠陥」と認めるオスプレイ。中でも横田に配備されるようとしている空軍のCV22オスプレイの事故率は沖縄に配備されている米海兵隊のMV22オスプレイの約7倍と

されます。

低空や夜間など、より過酷な訓練を行うことが事故の原因とされ、地域住民は一層の危険にさらされます。多くの住民が「爆音はとも迷惑」「穏やかな空を返してほしい」と願っています。力をあわせて、危険なオスプレイの配備を阻止し、穏やかで平和な東京の空を取り戻すために頑張ります。

福島避難者への住宅支援に関して

25日、財務省・内閣府・復興庁、と参議院会館で交渉。山添拓議員、藤田・佐藤両候補、青山候補、小竹都議らが参加しました。



当局（右手前）と交渉する左から山添氏、小竹氏、藤田氏、青山氏。



2016年11月号外
大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤方

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

連絡先

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-34-7
Tel 03-3736-1494 Fax 03-3735-4522
URL <http://r-fujita.jcp-ota.jp/>
Mail r-fujita@jcp-ota.jp

わたしも 応援 します!

5年前、新婦人の若い人たちが初めての集まりを企画し、それを呼びかけるチラシを藤田さんが作ってくれた。"つながるカフェ"と書かれ、回りには、ジグソーパズルのカットがあるセンスのいい素敵なお知らせに私たちは、「いいねえ!」と言合い、はやる気持ちで印刷したことを思い出す。

これが、今に続くママたちの集まりであり、「つながるカフェ」の始まりであり、藤田さんとの出会いだっただ。その後、「つながるカフェ」は、さまざまな企画



新婦人まつり会場にて。中央、藤田りょうこ候補、右端が横田悦子さん(19日)

藤田りょうこさんを何としても都政へ

新日本婦人の会大田支部内後援会 横田 悦子

を取り組み、新婦人東京でも注目される若い人のチームとなった。藤田さんは、それまでの活動の蓄積の上に、ママとしての視点・経験が加わり、新婦人にとっても大きな力をもちかかっている。

ある後援会の集まりで候補者として藤田さんは、参加した人の気持ちに沿って自分の飾らない心境や政治を変えたいという強い決意を語った。なんとというか、センスのよさが感じられるとてもいい話だった。私は、「藤田さんいいんじゃない?」と、その後、会う人ごとにそう言っていたような気がする。

そして、都議補選での一本化。私たちはかなり苦勞して取り組んだが、藤田さんの対応と決意に、「心を動かされた」と、後であちこちから聞いた。苦勞を乗り越えさせる魅力、力がこの人にはあるのだと確信した。センスのよさというものは、人の気持ちに汲み取れるということではないだろうか。素敵な候補者を都政へ送るために私も全力を注ぎたい。

《主な駅頭宣伝》

※雨天中止または変更の場合あり

朝の駅頭 7時15分~8時

030日(水) 池上駅

012月

1日(木) 田園調布

2日(金) JR蒲田東急口

5日(月) 雪谷大塚駅

6日(火) 下丸子駅

7日(水) 武蔵新田駅

夕方の駅頭 17時~18時

2日(金) JR蒲田西口

千鳥駅での朝宣伝 (25日) 中央が藤田候補。



藤田りょうこ成長記

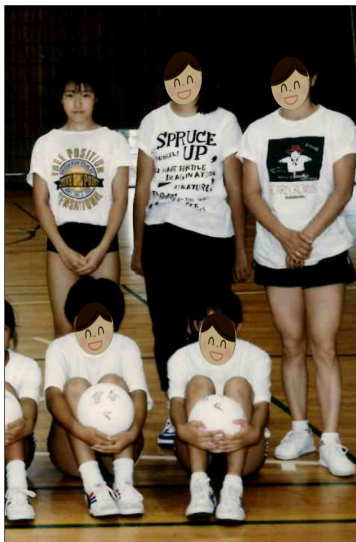
14 母 沢井正代

中学2年生のある日夜遅く帰ると、りょうこが何か話たげにしていました。話を聞くと靴箱から履きがなくなったり、クラスのすべての女子が、話をしてくれない。音楽室などへ移動するときもだれも誘ってくれないというのです。

そのころいじめが問題になっていましたが、まさか娘がと、意外な気がしました。原因は何だろうねと聞いてみると、りょうこがな

んでも思ったことを言ったり、行動したりするいわば娘の個性を嫌みに思う子がいたのですね。

そんな状態が続いてはつらくない?と聞くと「バレーボール



雪谷中学のバレーボール部の仲間たち。後列左がりょうこ。88(S63)8月

部の同級生が休み時間だけでも彼女の教室においでと誘ってくれた」というのです。後で聞くと2年の秋ごろから3年まで続いていたようです。娘にとって幸いだったのは、部活の仲間や娘を見守ってくれている先生など、信頼できる人が周りにいたことです。娘は、あの時のつらい思いは、客観的に自分を見ることができたことと話してくれました。